



## なぜ、防災訓練で『黄色いハンカチ』の掲揚が必要なのか

小園自治会 会長 浅利 修三

小園自治会では、昨年度から小園地区合同防災自主訓練における『黄色いハンカチ』掲揚を用いた安否確認の定着を図っています。

なぜ『黄色いハンカチ』掲揚が必要なのか、その意義を地域の皆さまとともに共有したいと考えます。

### 発災から60分が鍵！

一般に発災から72時間以内の救出が鍵だと言われていますが、実際には、発災から60分以内がまず第一の関門なのです。災害発生時は、自分と家族の安全を最初に確認すると思います。10分前後の経過とともに、近所の様子はどうかと確認する時間が生まれます。

### まず、最初に行えることは

各家庭で、「我が家は大丈夫」を示すため、『黄色いハンカチ』を玄関先に掲揚する時間も生まれます。ハンカチが掲揚されていないお宅があれば、役員だけでなくご近所の方でも確認に行くことができます。もしかしたら、重い家具の下敷きになっているかもしれない。そのような時は一刻も早く救助をする必要があるのです。

これが、もし、10分、20分と遅れたら、その方の命は無事だとしても、重篤な怪我を負ってしまう可能性もあるのです。

### 被害を最小限にとどめるためには

災害はいつ何時発生するかわかりません。地域の皆さまが助け合って、被害を最小限にとどめるためにも、「我が家は大丈夫」を示すため、『黄色いハンカチ』の掲揚を習慣化できるように訓練をします。

### 安心な地域づくりを目指して

小園自治会では、防災計画案を策定しつつあります。その中には、組長や区長をお願いすることもあるかもしれませんが、しかし、安心な地域を育てるのは、この地域に住まわれている皆さん一人ひとりなのです。以上をご理解いただき今後ともご協力をお願いします。

